町会報

2018 **8** Vol.113

えてか

発行所/愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会 〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2 TEL089-941-7598(代表) FAX089-945-1318









Contents

西予市「宇和れんげまつり」

毎年4月29日、JR伊予石城駅周辺のれんげ圃場において「宇和れんげまつり」が開催されます。日本一のもちつき大会、どろんこサッカーなどのユニークな企画のほか、ステージイベントやもちまき、市内外から多くのグルメも集結し、第42回を迎えた今年は約45,000人の来場者で賑わいました。

中でも人気なのが「わらマンモスの親子」。こちらは1年間を通して楽しむことができ、周りの景色や季節の変化、時間帯によってわらマンモスの雰囲気も変わることから、カメラマンにとっても人気スポットとなっています。

12:30~13:00

13:00~13:20

13:20~14:50

14:50~15:00

15:00~16:30

受 付

講

休 韻

講 演

講 師

自治功労者表彰

玉

大会に

媛県自治会館_ 会が 玉 9 本県当 口 几 玉 番 地 区町 によ 長等が b) 8 村議 催され、 玉 会議 茰 出 地 30 兀 席 長 日 町 長 定により程内 長 があ 及び 兀 いさつを述べ 玉 地区会長の川 本県会長 長会会長 、た後、 が 議 罗

会長及び事務局

会議 はまず、 地 元愛媛 県 0 程内 会

田

香川県会長を指名

だ

後、

次

催

会議録署名人に に入った。 次 期 開

村高 知

長とな 規約の規

2

要望事項につい 出する四 国 地区町 村 議 会議

づ 内高知県事務局 崩 があ (h) 長 協 か 5 議 0) 結

基

62 回 町 ·村議会議長 全国

定した。

基 のとおり決定し づき説明 原徳島県事 が あ ŋ, 協 議 0

方につ

61

があ

ŋ

協

議

0

結 決

案どお

'n

開

躍することに

0

研

修

会の開催 て説明

概

要及びその

ち

武内高知県事 修会につい

務局

長

から

30

年

度

|大会に 長会

とお ŋ 議事 が 淮 8 B

長大会につい -成30年 度 匹 国 匹 県 町 村長

1

て 務 局 長 か 5 結果 議

次期 匹 国 地 区 会長会の

回

開催

に決定した。 ÍΠ で開 催すること

要かつ根幹となる社会資本である。 しかしながら、高速交通ネットワークの機能が十分形成されていない四国地方 は、それぞれの地域が持つ豊かな自然や多様な資源を活かしきることが困難であ り、地域産業の発展や観光振興に大きな影響を及ぼしている。 これに加えて、近い将来発生すると予測される南海トラフ地震等の災害時にお いて、迅速な人命救助や緊急支援物資の輸送のためには「命の道」となる信頼性 の高い「四国8の字ネットワーク」の早期整備は急務である。

今後、四国地方が地域の強みを生かし、地域連携によって自立し、災害に強い 国土を形成し、住民の安全・安心な暮らしを確保するためにも、早期に「四国8 の字ネットワーク」のミッシングリンクを解消し、暫定二車線区間の四車線化等 による安全性や信頼性を高めることは四国にとって喫緊の課題である。

第59回四国地区町村議会議長会研修会 日程

開会あいさつ (四国地区町村議会議長会会長)

閉会あいさつ(徳島県町村議会議長会会長)

「四国8の字ネットワーク」並びに「四国新幹線の整備促進」等

高速交通ネットワークの整備促進について 「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国

の高速交通ネットワークを形成し、物流をはじめとする様々な経済活動の生産性

を高め、地域間の交流を促進するなど、四国地方の活性化を図っていくうえで重

演 「既存メディアの総崩れで

政治評論家

き

日本のジャーナリズムはどこへ行く?」

「政権の課題と展望 ~日本周辺で何が起きているか?」

ジャーナリスト・ノンフィクション作家

ところ

平成30年10月18日休

門田 隆将 氏

加藤 清隆 氏

高知県立県民文化ホール

また、北陸新幹線や北海道新幹線の開業により、建設中も含めると、四国を除 く全国に新幹線のネットワークが形成されており、それぞれの地域の経済活性化 はもとより交流の拡大や観光の振興に大きく貢献している。

しかしながら、四国における新幹線整備は基本計画に留まっており、他地域に 比べ大きく遅れを取っている。

現在、国においては、新幹線などの高速交通ネットワークを整備し、地域の活 性化につなげていく「地方創生回廊」の実現に取り組んでおり、このためには全 国各エリアに新幹線が整備されることが不可欠である。

特に四国の新幹線は、今後の四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠な 交通インフラであり、西日本の広域交流圏形成、国土軸のリダンダンシー確保によ る災害耐力の向上、国土全体の一段の有効活用にも大きく寄与するものと考える。 よって、下記の事項について強く要望する。

- 記 地域の活性化や生活利便性の向上、都市と地域の連携強化、さらには、南 海トラフ地震等の災害時の緊急輸送道路の確保や救急患者の輸送時間の短 縮などに大きく寄与する「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの 早期解消及び暫定二車線区間の早期四車線化等を図ること
- 2 四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査に関して、平成31年度予算措 置を講じるとともに、「地方創生回廊」の実現のため、新幹線建設予算を大 幅増額すること。

第 59 回 別 四 掲 国地 のとおり X 町 村議会議長 、決定した。

슾

3

研

て

会議では、会議では、

につ

7

大会要綱

次 調

いのとお 整を行

'n

で

では、

国お |各県

か日

出役

1. 名

2. 目

3. 主 催

5. 開催場所

6. 出席者

4 H

平成30年度四国四県町村長・議長大会 開催要綱

四国の57の町村長・議長が一堂に会し、議会と執行部の立

場を超えて「元気溢れる地域をつくる」との強い信念のも

と、町村の抱える重要課題について研修・意見交換・審議

し、その実現のためお互いに連携を密にしながら、総力を 結集して行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民

演題「その場所で、暮らすこと、できること」 講師 株式会社ときわ 代表取締役社長 高畑富士子氏

代表取締役 社長執行役員CEO 藤田 恭嗣 氏

(5) ガンバローコール (6) 閉 会

演題 「私の地方創生への挑戦」 講師 株式会社メディアドゥホールディングス

徳島市万代町3丁目5-1 Tel 088-624-1104 会:1階「グランヴィリオホール」

○意見交換会: 1 階「グランヴィリオホール」

四国四県町村長・議長大会

福祉の向上を期する。

四国四県町村議会議長会

○15時15分~16時05分

○16時20分~17時10分

(1) 大 会 13時30分~15時00分 (2) 記念講演

(3) 意見交換会 17時30分~19時30分 徳島グランヴィリオホテル

平成30年9月26日(水)

四国四県町村会

〇大

四国四県町村長 全員

8. 意見交換会 (1) 開 会 (2) あいさつ (3) 乾 杯 (4) 懇 談 (5) ガンバローコール (6)

(4) 懇 談

兀 町 田 会議長会

8

議を行 四テ 1 自 ル時 県 治会館 事 国 町村長・議町村長・議 当者らが 県町村会・町村議局長会議が、8月2日らが出席。9月26日ので開催され、四回時で開催され、四回時で開催される「平成30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30日のでは30 0 20 県 音 協会議長 (水) 務 日 つた。 日程や処 向け 1 度リ泳務四オ午局 1) 川会 7

国ホ後長県

四国四県町村議会議長 全員 (1) 開 会 (2) 国歌斉唱 (3) あいさつ (4) 宣 言 7. 大会次第 (5) 来賓祝辞 徳島県知事、徳島県議会議長、 全国町村会長、全国町村議会議長会長 (6) 議長選出 (7) 議 事 各県提出議題審議 (8) 決議・特別決議 (9) 共同アピール (10) 実行運動方法協議 (11) 閉 会

平成30年度町村議会広報クリニック開催要領

1 目 的

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが 求められている状況に鑑み、町村議会広報実務担当者を 対象にした研修及び意見交換の場を設け、議会広報の発 展に資することを目的とする。

2 受講対象者

東海、近畿、中国、四国、九州地区の町村議会広報担 当者 (議員又は事務局職員) で各府県町村議会議長会が 推薦する者。

日 時 平成30年7月10日(火) 3 午後1時30分から午後5時まで

場所 4

> 全国町村議員会館 2階会議室(定員200名) 東京都千代田区一番町25番地(tel: 03-3264-8185)

研修内容 議会広報クリニック

平成30年度町村議会広報クリニック日程

■7月10日(火)

第1分科会 エディター 吉村 潔 氏 第2分科会 議会広報サポーター 芳野 政明 氏 第3分科会 「月刊総務」編集長 豊田 健一氏 第 4 分科会 自治体広報広聴研究所代表 金井 茂樹 氏

リが日 多 間 いことか ツ 順 上 高 町 か 16 町 村 玉 出 ħ たも 3 席 部 町 月 ブ 10 6 0 \Box で、 ツ 日 0 クに 0) 0 3

こ に わ Ź 0 クリ たり、 成 が 7 町 30 村 年 亨 ッ 議 度 ク 国 10 会 町 は、 町 H 村 議 から 村 長 議 議員会館 会 講 12 主 希望者が H 報 催 0 3 ク で



ク平 IJ 成 30 ·砥部町 ッ年 ク 度 ・内子町から13 が町 開 か 議 れる広 人が 出

総合事務組合だより

平成30年第2回愛媛県市町総合事務組合議会定例会は8月29日に開催され、平成29年度決算など2議案を 上程し、いずれも承認又は原案のとおり可決された。決算の概要は、次のとおり。

【平成29年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算】

(歳入)

(単位・円)

(成八)		(単位:円)
款	項	金額
1 負担金		5, 783, 060, 702
	1 退職手当負担金	5, 442, 220, 094
	2 消防負担金	294, 917, 508
	3 交通災害共済掛金	37, 612, 300
	4 自治会館負担金	8, 050, 000
	5 公務災害負担金	260, 800
2 使用料		3, 600, 000
	1 会館使用料	3, 600, 000
3 消防基金		254, 047, 180
等支出金	1 消防基金支出金	254, 047, 180
	2 議員連合会支出金	0
4 財産収入		3, 632, 521
	1 財産運用収入	3, 632, 521
5 繰入金		3, 300, 000, 000
	1 基金繰入金	3, 300, 000, 000
6 繰越金		619, 258, 394
	1 繰越金	619, 258, 394
7 諸収入		53, 002, 071
	1 預金利子	123, 654
	2 団体支出金	48, 959, 812
	3 雑入	3, 918, 605
歳	入 合 計	10, 016, 600, 868

(歳出)		(単位:円)
款	項	金額
1 議会費	<u> </u>	86, 292
	1 議会費	86, 292
2 総務費		105, 663, 861
	1 総務管理費	105, 651, 661
	2 監査委員費	12, 200
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3 事業費		4, 826, 963, 944
	1 退職手当事業費	4, 263, 030, 094
	2 消防事業費	531, 989, 968
	3 交通災害事業費	26, 506, 360
	4 自治会館事業費	5, 036, 042
	5 議員公務災害事業費	401, 480
4 公債費		0
	1 公債費	0
5 諸支出金		4, 607, 601, 000
	1 基金積立金	4, 607, 601, 000
6 予備費	Γ	0
	1 予備費	0
歳	出 合 計	9, 540, 315, 097

【基金積立金会計】

(単位:円)

[全亚顶工业公司]	(+ <u> </u> • 1)
積 立 金 種 別	金額
退職手当基金積立金	9, 161, 007, 000
消防賞じゅつ金等基金積立金	172, 884, 000
交通災害見舞金基金積立金	205, 763, 000
会館財政調整基金積立金	133, 206, 000
議員公務災害補償基金積立金	5, 188, 000
合 計	9, 678, 048, 000

【翌年度繰越金内訳】	(単位:円)
積 立 金 種 別	金 額
退職手当繰越金	461, 510, 614
消防繰越金	2, 110, 861
交通災害繰越金	9, 115, 777
自治会館繰越金	3, 540, 773
公務災害繰越金	7, 746
合 計	476, 285, 771

【平成29年度 各事業における支払の状況】

消 防

退職手当

(単位:円)

AE 494 J	_		(単位:円)
種	別	人数	金額
特別職		14	112, 001, 146
一般職 (271名)	普通退職	71	400, 857, 730
	勧奨退職	15	316, 090, 191
	定年退職	179	3, 346, 973, 740
	その他退職	6	82, 738, 481
合	計	285	4, 258, 661, 288

種 別	人数	金額
団員災害補償費	6	263, 380
障害・遺族補償年金	3	4, 968, 800
従事者災害補償費	0	0
退職報償金	551	248, 815, 000
特別退職報償金	1	64, 200
合 計	561	254, 111, 380

交通災害			(単位:円)
種 別	人数	金	額
災害見舞金	223		21, 280, 000

議員公務	災害			(単位:円)
種	別	人数	金	額
災害報償	費	0		0



であ [価実務] 並 本 事長・清水雅文愛南町長)は、 b) んで市 30 で市町村財政を支える基幹の修会は、「固定資産税は住民 年 研修会」 適正な課税のために 0) ·度固定資産税家屋 両 H を開催した 愛媛県水産会館で **源市** 町振 (木造) 瓜興協 評 価 7 税

識と技術を習得すること」なが複雑な家屋評価について、求められる。このため、特に 信明 テ んが研 出 て開 講 師は 席 究センター 催したも 般財 ので各市町 团 法人資 主任研究員 産 て、 から を その 0) 価 目 的

平成30年度「固定資産税家屋(木造)評価実務研修会」開催要領

主催 公益財団法人愛媛県市町振興協会

仕

目 的 固定資産税は住民税と並んで市町村財政を支える基幹税であり、適正な課税のために評価基準に基 1 づいた評価を実施することが求められる。

> このため、特に仕組みが複雑な家屋評価について、その知識と技術を習得することを目的として本 研修会を開催する。

2 H 時 1日目 平成30年7月3日(火) 10時00分~16時00分

2日目 平成30年7月4日(水) 10時00分~16時00分

3 場 所 研修会場:愛媛県水産会館 6階 大会議室

住 所:松山市二番町4丁目6番地2【駐車場なし】

現地研修:㈱一条工務店(RNB住宅展マサキデッキ内)

住 所:伊予郡松前町永田525

各市町固定資産税家屋担当者及び県不動産取得税事務担当者等 4 対象者

5 家屋(木造住宅)の不明確計算による評価演習

6 師 (一財) 資産評価システム研究センター 高橋 信明 氏

受 付 7 程 【1日目】 9:30~ 日

10:00~12:00 研修

13:30~14:30 現地研修(1部)

15:00~16:00 現地研修(2部)

【2日目】 10:00~16:00 評価演習

※参加人数によっては1日目の日程変更あり

- 8 携行品
 - ・固定資産税木造家屋評価実務マニュアル(平成30年度) ・電 卓 三角スケール ・コンベックス
 - ・家屋調査表 (家屋評価の際に用いているもの)

(一財) 地方自治研究機構の

「法務能力向上のための特別実務セミナー」が、

今年度は、松山市で開催されます!

~苦手な法務もこれで解決!

変化に即応できる自治体職員のための短期集中セミナー~

政策の立案や条例作成に必要な法務能力の向上のために役立つセミナーを実施。

法務実務研究セミナー

松山市 特別開催!

各地域の課題解決に役立つ政策法務に焦点を当て、 個別の条例や判例を分かりやすく解説する。

■内 容:政策法務能力向上のポイント

事例紹介(条例制定改廃の事例に基づき法務実務のポイントを解説)

行政手続き (パブコメ、行政不服審査、住民投票等)

空き家条例・ごみ屋敷条例等

まちづくり条例・公共施設関係条例等

重要判例研究(過去の重要な判例を題材に解説)

受講者から提出の質疑に対する応答等

■日 程:10月17日(水)~10月19日(金) 松山市・えひめ共済会館

■受講料: 賛助会員 4.000円・非賛助会員 6.000円(教材費として)

■お申込専用フォーム: https://krs.bz/gyosei/m/rilg seminar

お問い合わせ (一財)地方自治研究機構 TEL:03-5148-0662

一役は 誰なの

勿論、 ぎても残暑とは言い難く、 裏の猛威には手の施しようがない。 感じつつ、表面の自然美だけではない きの時、静かに過ごせるはずがないと 隅々まで、猛暑と豪雨、が降り注ぎ、 グラシが鳴き赤トンボが飛び交い始 方は酷暑で夏真っ盛りの8月末。ヒ 人々に自然力の強烈な思いを残した。 暦の立秋は遥かに過ぎ、処暑が過 -成年号最後の今夏、 近年の地球規模の異常気象続 日本列島は 列島の大

理性の欠如した幼稚さに包まれた大 古く、まず人間としてあらゆる能力・ ポーツの姿であろう。にも関わらず、 体能力・ 言葉より、科学的に裏打ちされた身 わらない。自己中心の理にかなわない ポート役が主役に取って代わった、ド スリート達のスポーツ界。未だにサ ピックまで後2年となった。主役はア 居たことに嫌悪感を覚える。 人たちが、アスリートの環境に多く ン(首領)、が現れるお粗末劇?は終 さて、東京オリンピック・パラリン 精神力の養成こそ近代のス

界に清涼な空気を吹き込んでくれた は、今年の夏「甲子園球場」第10 回全国高校野球選手権大会であっ しかし、このような淀んだスポーツ スポーツ界の汚染は、

> ばないところ。いずれも人一倍の努力 県大会においても汗と土に塗れた戦 人の心を捉え感動させてくれた。 気全開のグラウンドでの展開は、観る ある。良き指導者と悔いの残らない元 の結集と時の球運に恵まれた結果で いが繰り広げられたことは云うに及 戦は素晴らしかった。勿論それぞれの ある。8月5日から17日間、 まで及んでいなかったことは幸い 56校の熱

貴重である。五輪開催の日程を秋にに健康面での懸念(日本睡眠学会)は世論調査も反対が多い。経済効果、特 る。因みに体育の日は10月にある。我だまだ素晴らしい四季が日本にはあ が取り沙汰されている。我が国でもいるらしい。そこでサマータイム導入 も事前に開催地として、夏季がアス うことにしては如何か。それにして 程変更は無茶、さりとてサマータイ 施した事がある。しかし既に導入し 昭和23年にGHQ(占領軍)指導で実 観る側も何故かスッキリ感のない、夏 リートを主役とした日程だったのか、 ソンなど屋外競技は、ナイターで行 ム導入とは大きな疑問。ならば、マラ すれば心配なく事は済む…。今更、日 が国のサマータイム導入については、 止方向の動きにある。他国と違い、ま ている欧州では、デメリットが多く廃 の猛暑に東京五輪の酷暑を心配して 夜の思い…。 今、欧州のメディアは、今夏の日

ヴォルテール 誰もかれも同じ宗派になる」 ひとたび金の問題になると、 フランスの文学者 T

8月の会と催

▽15日=愛媛県戦没者追悼式、議長会合同事務局長会議 >6日=四国四県町村会・町村 >3日=愛媛県市町総合事務組合会 〇 2 日 係る義援金」配分委員会 査 \parallel 「平成30年7月豪雨災害に

▽ 29 日 ▽30日=第179回四国地区町村議総合事務組合議会定例会 ラム 会議長会会長会、行革甲子園20 =平成30年第2回愛媛県市

編

ですれ違う。 ですれ違う。 ですれ違う。 ですれ違う。 また近くの鹿野川大たりまで浸水。また近くの鹿野川大たりまで浸水。また近くの鹿野川大大がまで、は、住宅の2階あたりまで浸水。 ました。 か!こんなことになるとは。」と、被内の被災地へ罹災調査に行き、「まさ平成最後の夏、7月豪雨による県 災者からこんな悲痛の声を聞いてき

害の恐ろしさを肌で感じたところで惨状に愕然とし、あらためて自然災や新聞等で報道されていたとおりの被災地を目の当たりにし、テレビ す。

す。」とだけお声かけしたところ、高つからず、ただ「お見舞申し上げま被災した方々にむけての言葉が見 齢の被災者から「遠くからよぅ来て

▽26日 = 愛・野球博オープニングフォー▽23日 = 滞納整理機構組合議会県町村会第1回役員会 議会 ンジャ て)

・前後賞各1億円合わせ /ボミニ5千万

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい まちづくりに使われます。

各1枚 300円

日 2 種類同時発売! 10/1(月)~10/23(火)

公益財団法人愛媛県市町村振興協会

発売期間

を
なりません。みんなでできること
なただはこの災害を克服しなけれ ぐっときてしまいました。いただいたときには目頭が熱くなり、くれたなぁ」と労いの言葉をかけて

がんばろう被災を頑張りましょう。 んばろう被災地! がんば n 愛

が頻発しました。
に考え、備えなければなりません。 を、私たちは日ごろから住民ととも するために何ができるかということ が、大切な命を守り、被害を少なく自然災害を防ぐことは不可能です。災害は忘れたころにやってきます。

丈夫と思いがちです。これではいけ人々はなぜか自分のところだけは大 備えあれば憂いなしです。

こうした大災害が続く中でも、

